

農林水産商工常任委員会資料

(令和8年10月8日)

項 目	ページ
■ 鳥取県農作業死亡事故多発警報の発令と緊急啓発活動の実施について 【経営支援課】	2
■ 「鳥園L」の「この梨、まだ名前なし」キャンペーンについて 【生産振興課】	3
■ シルバーウィークの大山まきばみるくの里周辺状況について 【畜産振興課】	4
■ 国産材を原料とする木質材料を用いた鉄道用まくらぎ開発の取組状況について 【林政企画課】	5
■ 水産分野における地域未来戦略（地域産業成長プラン）の状況について 【水産振興課】	6
■ 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 【農地・水保全課】	7

農 林 水 産 部

鳥取県農作業死亡事故多発警報の発令と緊急啓発活動の実施について

令和8年10月8日
経営支援課

9月25日に八頭町において農作業死亡事故が発生しました。これを受けて、鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会は、1か月に複数回の死亡事故が発生したことから「鳥取県農作業死亡事故多発警報」を発令し、緊急かつ重点的な啓発活動を全県的に実施しています。

1 事故の概要

- (1) 発生日：9月25日（金）
- (2) 発生場所：八頭町内の果樹園
- (3) 事故者：八頭町内 男性 60代
- (4) 事故概要：9月25日（金）午後5時頃、果樹園で横転したトラクターの下敷きになっている事故者を通行人が発見し110番通報した。事故者はシートベルト未着用であり、駆けつけた救急隊員により意識不明の状態で救出されたが、その場で死亡が確認された。

2 警報の発令

- (1) 発令日：9月28日（月）
- (2) 警報期間：発令日から10月11日（日）まで 14日間
- (3) 発令機関：鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会

3 実施する啓発活動

以下の啓発活動を通して、農作業安全の徹底を呼び掛けています。

- (1) メディアを活用した広報を実施中。
テレビ：日本海テレビ、山陰中央テレビ、ケーブルテレビのコマーシャル
ラジオ：FM山陰、山陰放送のコマーシャル
新聞：日本海新聞
その他：LINE、YouTubeの広告
- (2) 啓発チラシの作成と農業者への配布・伝達を行った。
- (3) 行政無線、ホームページ等で周知している。
- (4) JA営農指導員、農業委員、農業改良普及員、農機販売店等から農業者へ注意喚起をしている。
(のぼり旗の掲示による周知・啓発、上記チラシ等を用いた農業者への伝達)

【参考】

1 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の概要

- (1) 構成：県、JAグループ、農業共済組合、市町村、農機販売店等
会長 坂根康之（JA鳥取中央会専務理事）
- (2) 主な活動：農作業安全に関する啓発活動
- (3) 経過：令和4年1月13日に鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会の臨時総会を開催し「農作業死亡事故警報及び多発警報」の創設と協議会構成員の拡大（全市町村）を決議した。

2 過去の農作業事故の発生状況（令和8年度は9月28日現在）

区分	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8
事故数	6	12	6	10	4	15	11	3	15	11	4
うち死亡者数	2	1	1	6	1	7	3	2	1	2	2

※各市町村の農作業安全推進員からの報告をまとめたもの

3 県の支援施策 農作業安全対策事業 9,152 千円

- (1) 鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会事業
 - ・農作業死亡事故警報等緊急啓発活動（県定額）
 - ・春・秋の農作業安全運動等の啓発活動（県1/2）
 - ・担い手に対する農作業安全講習会の開催（県定額）
 - ・対話型安全研修会の開催（県1/2）
- (2) 県事業
 - ・農作業安全推進リーダー研修会の実施

「鳥園L」の「この梨、まだ名前なし」キャンペーンについて

令和8年10月8日
生産振興課

本県が育成した新しい梨「鳥園L」（とりえんえる、品種出願公表中）を広く県民に知っていただくため、「この梨、まだ名前なし」キャンペーンを実施していますので、その概要を報告します。

1 目的

鳥取生まれの新しい梨の出願品種「鳥園L」が誕生し、「二十世紀」や「新甘泉」に続く有望な品種として県を挙げて振興を図るために、SNS等での発信や県内の食のイベントでの対面型プロモーション等を通じて県内外の全年齢層を対象に広く知っていただく。

2 キャンペーンの内容

(1) SNSを使った情報発信（9/10（木）～10/31（土））

- 対象期間中に鳥取県広報Xアカウント（@tottori_kouhou）をフォローして、本キャンペーン投稿をリポストしていただく。
- 応募者の中から抽選で3名に「鳥園L」、「星空舞」、「トリピーぬいぐるみ」をプレゼントする。
- 9月28日現在、13万回再生、4400件のリポストと反響は非常に大きい。

（主なコメント）

- まだ名前も決まっていない梨を味わえるのが夢のよう。鳥取の梨づくりを応援したい。
- 二十世紀が好きなので期待が高まる。
- 東京は、青梨があまり出回らないので気になる。関東での流通も期待している。
- 「まだ名前なし」が特別感もあり気になる。17年ぶりに誕生した梨をぜひ味わってみたい。



(2) 県内イベントでの対面PR

以下の3イベントにおいて、試食（数量限定）を含む対面型プロモーションを実施する。

- ①「ぼうさいこくたい2026in鳥取県」（10/17（土）～18（日）、倉吉市）
- ②農と食のフェスタ in せいぶ（10/24（土）～25（日）、米子市）
- ③いなば農産物フェスタ（11/7（土）～8（日）、鳥取市）

【参考】「鳥園L」の概要

1 育成の経過

- 園芸試験場が平成14年から育種を開始し、現地試験を経て令和7年8月28日に品種「鳥園L」として品種登録出願公表された。
- 現在、品種登録に向けた審査が行われており、令和11年～12年に品種登録される見込みである。

2 品種の特性

- 「新甘泉」「二十世紀」に続く、9月中旬～10月上旬収穫の青梨
- 果重531g、糖度13.5度（令和4～6年3カ年平均）
（参考）「二十世紀」の一般的な果重320g、糖度11度
- 酸味と甘みが丁度よく濃厚な味わいでシャリシャリとした食感



3 今後の予定

- 苗木の供給は令和9年秋から開始され、現地の果実が本格出荷を迎えるのは令和12年以降の見込みである。

シルバーウィークの大山まきばみるくの里周辺状況について

令和8年10月8日
畜産振興課

大山まきばみるくの里周辺のシルバーウィークの交通渋滞対策を行いましたので、その概要を報告します。

1 シルバーウィークの来客数および混雑状況

(1) 来客数

- シルバーウィーク(以下SW)の来客数は、降雨はあったもののリニューアルおよび5連休効果もあり、土日祝日のみで令和6年度と比較して約2.4倍と順調に推移し、ゴールデンウィーク(以下GW)と遜色ない大盛況であった。

＜9月シルバーウィークの来客数＞

	19日	20日	21日	22日	23日	合計	土日祝日の平均
天候(R8)	PM 雨	終日少雨	AM 雨	曇のち晴	晴	—	—
令和8年度	2,948(土)	4,810(日)	4,247(祝)	5,669(祝)	4,564(祝)	22,238	4,447
令和6年度※	—	—	1,249(土)	1,602(祝)	2,613(祝)	5,464	1,821
	対6年度年比						244%

※令和7年度は改修工事中により閉館していたため実績なし。

- 今年のGWはSWと同じ曜日の5連休で、最も多い来客数は5/5日の6,580人、5/2(土)～5/6(水)の5日間合計は25,613人だった。

(2) 渋滞状況

- SW期間中の渋滞に関しては、関係機関で対策を事前検討および渋滞対策を講じたこともあり、GW時のような大規模な渋滞は発生しなかった。SW期間中の最も長い渋滞は、来客数がピークとなった22日の約800mで、GWの最長渋滞(約5～6km)より大幅に緩和された。
- しかし、今回緊急で準備した臨時駐車場については、降雨の影響もあり、地面がぬかるんでいため、スタック車両(キャンピングカー1台)が発生し、22日のみの利用にとどまった。

※なお、キャンピングカーは大山放牧場所有のホイルローダーでけん引しスタックは速やかに解消された。

- 臨時駐車場の利用状況：22日のみ、最大10台(スタック車両発生後は、大事を取り大山乳業が利用中止を決定)



＜臨時駐車場＞

2 シルバーウィークの交通渋滞対策

(1) 臨時駐車場(仮整備)

- 入口側溝に蓋を約20枚追加3.5mから7mに拡張
- 侵入口斜路に真砂土、碎石を置き、車両の円滑な侵入路を確保
- 車両出口用の斜路を設置、同様に牧野道への観光客歩行用アプローチを設置
- 駐車場の木の伐採及び伐根
- 駐車場の領域を示す牧柵を400m設置



＜臨時駐車場入口＞



＜臨時駐車場出口＞

(2) 右折レーンの設置

- 大山寺方面から県道284号を下って第1駐車場に右折進入する車両用に新たに右折レーンを設置し、下り方面車両の渋滞を緩和

(3) ライブカメラの増設、SNS発信

- 既設2台の雪道ナビ用のライブカメラに加え、更に4台を増設、合計6台で大山まきばみるくの里周辺の渋滞情報をライブ中継
- ライブ中継はみるくの里ホームページ、SNSで発信し、利用者に常に最新の情報を提供する体制を構築

＜大山まきばみるくの里の整備マップ＞

3 今後の予定

- 来年度GWまでに臨時駐車場の再整備を行う。
- 第3駐車場は、今年度の実設計画、来年度のSWまでにアスファルト舗装による整備を行う。

※今回のSWまでの一連の応急対策は、現計予算で行い、今後の整備については、9月定例会に上程しており、議会での議決終了後に行うこととしている。



国産材を原料とする木質材料を用いた鉄道用まくらぎ開発の取組状況について

令和8年10月8日
林政企画課

本年度から取り組んでいる当事業について、現在の進捗状況と今後の試験計画を報告します。

1 事業の概要

(1) 目的

鉄道用木製まくらぎは外国産材が主流であるが、近年、入手が難しくなっている。そこで、国産材 LVL（単板積層材）を用いた鉄道用木質まくらぎの実用化に向け、材料強度、レール接合性能及び保存技術の検証を行うとともに、屋外暴露試験による耐久性能試験を実施する（林野庁委託事業）。

(2) 参画メンバー

【公設試験場】北海道立総合研究機構林産試験場、石川県、宮崎県、鳥取県

【大学】北海道大学、秋田県立大学、東京農業大学

【民間企業】(株)JR総研エンジニアリング、ノースジャパン素材流通(協)

(3) 鳥取県の役割分担

まくらぎの寸法（厚 14 センチ、幅 20 センチ、長さ 210 センチ）に加工し防腐防蟻薬剤を注入処理した試験体を屋外に設置し、耐久性を継続調査する。

2 進捗状況

(1) 県内で試験施工するまくらぎ

製品	材種	産地	本数	備考
LVL	ヒノキ	鳥取県	5	(株)オロチで製造
LVL	カラマツ	北海道	5	
無垢材	スギ	鳥取県	5	県内製材所で調達
無垢材	クリ	岩手県	5	



ヒノキ LVL まくらぎ（薬剤処理後）

※当初、LVLを対象とした試験だったが、本県林業試験場では

地域材利用の観点から原料にスギ無垢材を提案し、試験体に追加された。

※全てのまくらぎは防腐防蟻薬剤（ナフテン酸銅）を加圧注入処理済（北海道の工場）。

※試験体まくらぎは9月24日に林業試験場に配送済。

(2) 屋外暴露試験

若桜鉄道株式会社及び若桜町に御協力いただき、若桜駅構内の引込線に敷設できることになった。

※実際の線路で試験を行うのは鳥取県のみ。

3 今後の事業予定

(1) まくらぎ敷設見学会

試験に参画する各試験機関、JR 総研、林野庁等の参加により、まくらぎの敷設見学会を実施する。

・日時：11月18日（水）9時から（作業開始：9時30分）

・内容：①若桜駅構内引込線で、まくらぎの敷設作業を公開で行う。
各製品1本（合計4本）を敷設（既設のまくらぎと交換）。
その他16本は事前に敷設。

②列車の試験走行（予定）

まくらぎ敷設箇所の上を列車を走行させ、走行への影響や損傷の有無などを確認する。



若桜駅構内の試験予定地

(2) 試験計画

今後、林業試験場では、敷設したまくらぎを定期的（年2回程度）に調査（腐れ、損傷、金具のゆるみ等）し、事業主体である北海道林産試験場へ結果報告する（5年間程度）。

事業主体である北海道林産試験場では次年度以降も林野庁委託事業にも応募し、継続して試験を行う予定。

水産分野における地域未来戦略（地域産業成長プラン）の状況について

令和 8 年 1 0 月 8 日
商 工 政 策 課
水産振興局水産振興課

地域未来戦略のうち県策定の「地域産業成長プラン」について、「フード・マニファクチャリング（水産）分野における地域産業クラスター計画」の国の事前確認が終了し、9月30日（金）に開催された「地域未来戦略に関する関係副大臣等会議（第7回）」において公表されましたので、報告します。

1 フード・マニファクチャリング（水産）分野における地域産業クラスター計画の概要

目指す姿：港湾・漁港機能強化とアジア市場及びインバウンド市場を主要ターゲットとする高付加価値化により西日本最大級の水産物供給基地を目指す。

事業概要：・水産加工原料確保の不安定さを解消するため、高度な温度管理が可能な冷凍・冷蔵施設整備や市場機能を強化

・独自加工技術の活用・深化、海外ニーズに合わせた商品開発・販路開拓、地域水産ブランドの認知度向上等による水産加工品の高付加価値化を推進

・飲食・直販機能を持った施設整備や観光業界との連携による新たな観光消費を創出

2 今後の予定

プラン実現に向けて伴走及び直接支援を行う。

⇒・6月補正予算「地域産業成長プラン推進事業」（予算額：3億円）により、地域産業成長プランなど地域未来戦略に基づく民間企業が行う市場調査、ブランド化などのソフト経費やハード整備費用等を、地域未来交付金なども活用しながら支援していく。

・その他、国の補助金の審査上の考慮を受けることができる。

鳥取県

フード・マニファクチャリング（水産）分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

水産品加工業、食品関連物流業、小売・観光サービス業

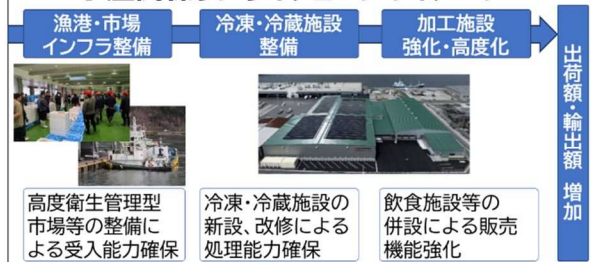
2. 対象エリア

境港市、米子市及び周辺港湾エリア

<特定理由>

鳥取県の食品関連産業は県内製造品出荷額の約2割を占める基幹産業であり、国内有数の漁獲高を誇る境漁港や国際空港・港湾への近接性といった立地条件を活かして、水産品加工業を中心とした関連産業の集積が期待できるため

水産関係サプライチェーンのイメージ



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

○境漁港は水揚量全国第3位、水揚金額約全国第4位であり、また近隣には水産関係企業が多く集積していることから、国内有数の水産基地としてのポテンシャルを有している

○近年、高品質な日本産水産物への需要の高まりに加え、本県の外国人宿泊者数が過去最高を記録したことから、輸出のみならず域内でのインバウンド需要を取り込める下地が整っている

（2）目指すべき目標

○官民設備投資額：263億円（R8～R17）
：26.3億円（R17）
○付加価値増加額：8.3億円（R17）
○産業人材育成数：50人（R17）

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

○水産加工品における原料確保の不安定さを解消するため、高度な温度管理が可能な冷凍・冷蔵施設整備や市場機能を強化

○県内企業が誇る独自加工技術の活用・深化、海外ニーズに合わせた商品開発・販路開拓、地域水産ブランドの認知度向上等による水産加工品の高付加価値化を推進

○飲食・直販機能を持った施設整備や観光業界との連携による新たな観光消費を創出

（2）目指すべき姿

○西日本最大級の水産物供給基地としての機能強化とアジア市場及びインバウンド市場を主要ターゲットとした高付加価値化戦略の実現による水産業クラスターの確立

5. 政策手段

（1）取組に向けた課題

○冷凍・冷蔵施設の処理能力低下等に伴う陸上の処理能力不足
○大規模設備投資に伴うリスクの高さ
○高付加価値加工品製造への転換
○AIを活用した在庫管理、輸出対応等の業務を行える人材不足
○インバウンド対応など新たな販路開拓への対応

（2）講じるべき政策パッケージ

○漁港・市場インフラの整備促進
○各社が実施する設備投資、AX人材育成への支援
○高付加価値商品開発、観光業界と連携したインバウンドニーズ調査等への支援
○戦略的な企業誘致の促進

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和8年10月8日
農地・水保全課

【新規分】

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	入 札 方 法
農地・水保全課 (東部農林事務所)	安藤井手地区豪雨対策 (終点放水路)工事(3工 区)	八頭郡 八頭町 市谷	山陰建設株式会社 代表取締役 上田 正人	102,520,000円 (予定価格) 111,964,600円	令和8年9月24日 ～ 令和9年3月15日	令和8年9月24日	制限付 一般競争入札 (12社)

【変更分】

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契約年月日	変 更 理 由
農地・水保全課 (東部農林事務所)	広岡地区地域ため池(広 岡溜池)改修工事(3工区)	鳥取市 広岡	株式会社大谷組 代表取締役 大谷 廣秋	(当初契約額) 152,570,000円	令和6年10月17日 ～ 令和8年1月5日	(当初契約年月日) 令和6年10月17日	
				(第1回変更後契約額) 157,713,600円 〔 (変更額) 5,143,600円 〕	令和6年10月17日 ～ 令和8年1月5日	(第1回変更契約年月日) 令和7年4月11日	・ICT活用工事の対象としたことによる工事費の増額。
				(第2回変更後契約額) 243,983,300円 〔 (変更額) 86,269,700円 〕	令和6年10月17日 ～ 令和8年8月31日	(第2回変更契約年月日) 令和7年12月25日	・ため池基礎地盤の改良を実施するため旧堤掘削を行ったところ、再盛土に適さない土質が一部で確認されたため、当該不良土の曝気作業や残土処分、良質盛土材への置き換えが必要となったことに伴う工事費の増額及び工期の延伸。
				(第3回変更後契約額) 283,486,500円 〔 (変更額) 39,503,200円 〕	令和6年10月17日 ～ 令和8年9月18日	(第3回変更契約年月日) 令和8年7月21日	・盛土材へのセメント配合試験の結果、目標強度の確保に必要なセメント添加量が増加したことに伴う工事費の増額及び工期の延伸。
				(第4回変更後契約額) 296,407,100円 〔 (変更額) 12,920,600円 〕	令和6年10月17日 ～ 令和8年9月18日	(第4回変更契約年月日) 令和8年9月17日	・3次元測量以外にICT施工を実施したことによる工事費の増額。
農地・水保全課 (中部総合事務所農林局)	松谷第3ため池改修工事 (その4)	東伯郡 琴浦町 松谷	加登脇建設株式会社 代表取締役 加登脇 孝彦	(当初契約額) 90,750,000円	令和8年5月11日 ～ 令和9年3月15日	(当初契約年月日) 令和8年3月30日	
				(変更後契約額) 120,710,700円 〔 (変更額) 29,960,700円 〕	令和8年5月11日 ～ 令和9年3月15日	(変更契約年月日) 令和8年9月2日	・ため池盛土材の含水比調整を追加したことによる工事費の増額。